

ふくしま 法人会ニュース

2011

3

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

福島法人会ホームページ <http://f-hojin.or.jp>

ふくしま街歩き今昔



「川俣の小手姫像」（伊達郡川俣町）

Contents

税だより	2
へーなるほど	2
総会講演会のお知らせ	3
税理士会コーナー	4
ちょっといっぶく	4
「トイレの神様」と銭洗い	5
「ホームページ会員企業情報」登録のお願い	6
カメラリポート	7
会員さんこんにちは（相良元章さん）	8



（法人ニュースふくしま 2003年3月号より）

税だより

国税

にせ税務職員などに ご注意ください

税務職員を装い、勤務先、取引銀行等を問い合わせる事例、従業員等の個人情報等を問い合わせる事例、現金を持ち去るなどの事件にご注意下さい。

納税者の皆様がこのような被害に遭わないよう、次の点にご注意願います。

1. 税務職員が納税者の皆様に電話でお問い合わせをする場合は、提出いただいた申告書等を基にその内容をご本人に確認することを原則としております。

2. 税務職員が税務調査を行う場合は、質問検査章と身分証明書（顔写真ちょう付）を携帯しています。身分証明書等で所属、氏名等を確認してください。

3. 通常の税務調査において、調査担当の職員が帳簿書類等を預かることはありますが、現金その他の財産を差し押さえることはありません。

なお、いわゆる査察調査など国税

犯則取締法に基づき税務職員が強制調査を行う場合は、裁判官が発布した「臨検・捜索・差押許可状」を必ず呈示することとしています。この際、税務職員が許可状に基づき現金等を差し押さえる場合もあります。差押手続を行った場合には必ず差押目録を作成し、差押目録謄本を交付しています。

4. 徴収担当の職員が、納税者の皆様から税金の納付のために現金を受領する場合には、必ず領収証書を交付しています。

5. 通常、土日などの休日や早朝・深夜から税務調査を開始することはありません。

ご家族の方が電話での問い合わせを受けられたときは、即答せず、税務職員の所属と氏名をご確認いただき、必ずご本人に相談の上ご回答願います。

また、国税局・税務署の関係者や税理士などを装い、税務関係の会報などの購読や税務に関する講習会などへの受講を勧誘し、種々の名目により法外な金銭を請求するといった事件や、ダイレクトメール等で「あなたの税金安くします。」などと持ちかけ、手数料名目の金銭を振り込ませて詐取しようとする事件についてもご注意ください。

ドラマや映画はしよせん絵空事で。改めて目くじらをとてるほどのことでもありませんが、時代劇でチョット気になるのは、当時の庶民が関西から西の街道の茶店や長崎あるいは下関などのお店でお金を使うシーンです。これはシナリオライター、ディレクターどちらの責任なのか分かりませんが、江戸のお金つまり一両とか一朱などを払っていきすね。あれはまったくありえない、

村井幸三さんの ヘーなるほど



【学研学習百科事典 第1巻 日本の歴史】より抜粋

絵空事の最たる場面です。

江戸時代三百年、わが国の通貨は名古屋を境に東は金本位、西は銀本位の二本建だったので。もっと詳しくいうと東は基本が金貨で単位はこまい方から文（もん）朱、歩（ぶ）両と、それが四進方で進みます。つまり四歩が一両です。

一方、西日本は銀貨で最小を毛といい、そこから厘、文（ぶん）匁。貫と数えました。こちらは十進法です。

なぜこの小さな国で東西に分かれ二種の通貨が存在したのか、実はそのところがよくわかっていないのです。

ただ江戸は幕府の所在地、幕府は家康以来全国の金山を独占して産金を一手にし、支払いはすべて金で行なったことから自然と金本位制になった。これに対し西日本は昔から外国、特に中国との貿易が盛んだったが、中国は銀本位の通貨制をとっていたので銀で決裁することが多かったこと、中国から小額銀貨が入ってきて、それがそのままわが国の通貨に混ざって使われていったことから自然と銀本位になったのではないか、というのがおおよその推測です。

二つの通貨をうまく流通させるため江戸や大阪などの大都市には両替商という業者が店を構え、手数料をとって商売にしました。時代によって両替率は上下しましたが、幕末の頃は一両が八四匁だったようです。

慶応四年、徳川幕府が倒れ明治政府が成立すると、さすがにその不合理に気付いた政府は翌年の五月、金本位一本にしました。つまり江戸のお金そのまま長崎で使えるようになったのはそれ以後のことなのです。

第三十七回通常総会

と き 平成二十三年五月二十七日（金）

と ころ ウェディングエルティ

※詳しくは、別途ご案内いたします。

記念講演会同日開催（午後一時三〇分～午後二時）

テーマ

「アンチエイジングよりエキサイティングエイジング
これからはシニアの時代だ」



講 師
ひらまつ こうぞう
平松 庚三氏
(小僧 com(株)
代表取締役会長兼社長)

プロフィール

一九四六年生まれ。
アメリカン大学 (Washington, D.C.)
コミュニケーション学科卒業。
ソニー(株)入社。ソニーで13年間勤務
した後、アメリカンエキスプレスの副
社長、IDGコミュニケーションズ
社長、AOLジャパン社長などを歴
任。

二〇〇〇年にIntuitジャパンのCE
Oに就任。
二〇〇二年にMBOにて米国親会社

から独立、社名を弥生(株)に変更。同
社の代表取締役社長に就任。
二〇〇四年全株式を売却してライ
ブドアグループ入り。
二〇〇六年一月 (株)ライブドア社長
就任。
二〇〇七年二月 (株)カウイチ取締役
就任。
二〇〇七年四月 社名をライブドア
ホールディングスに変更、代表取締
役社長就任。
二〇〇八年一月に人生の後半戦を楽
しむ「人生のエンターテインメント
パートナー」としてアクティブなシ
ニアを応援する小僧com(株)代表取
締役会長に就任。
同年9月小僧com(株)代表取締役会
長兼社長に就任。

平成23年度

国家公務員採用五種(税務)試験(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。
国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

○受験資格

平成2年4月2日から平成6年4月1日生まれの方

○受験申込受付期間

平成23年6月21日(火)から6月28日(火)まで

○受験申込書の請求

最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局
※受験申込書の配布は、5月9日(月)から行います。

○お問い合わせ先

人事院東北事務局 022-221-2022 又は、
仙台国税局人事第二課 022-263-1111 内線 3236

「子ども手当と扶養控除の見直し」

22年度から児童手当に代わって、子ども手当がスタートしました。中学校終了までの子ども1人につき、月額13,000円が支給されています。

23年度の子どもの手当については、3歳未満の子ども1人につき月額20,000円に引き上げるとした法案が閣議決定されました。ただし、ねじれ国会の中3月末までに法案が通るかどうかは微妙なところでしょうか(2/10現在)？

子ども手当の受給世帯では、22年には増税はありませんでしたが、23年以降は増税となります。所得税は23年から、住民税は24年分からとなります。

0歳～15歳の扶養控除額は所得税38万円、住民税33万円から、所得税住民税ともに0円となります。16歳～18歳の扶養控除額は、所得税63万円、住民税45万円から、所得税38万円、住民税33万円となります。従来、高校生(16歳～18歳)の年齢の扶養者は、特定扶養親族として他の扶養者より更に乗せ分の控除がありました。この上乗せ分の控除は廃止されます。公立高校の授業料無償化等の影響でしようか？

では、実際にどれくらい増税になるのでしょうか？

るのでしよう。所得税は累進課税(5%～40%)なので、その人の所得により変わってきます。中学生までの扶養者1人につき、税率により19,000円から152,000円のもの増税となり、高校生の扶養者1人につき12,500円から100,000円の増税となります。住民税は一律10%の税率なので、中学生までの扶養者は1人につき33,000円の増税となり、高校生の扶養者は1人につき25,000円の増税となります。しかし、もともと所得税や住民税が非課税である世帯には影響はありません。子ども手当の年間の支給額は156,000円ですので、所得税の税率が33%以上の人(課税所得金額が900万円超の人)は子ども手当の支給額以上の増税になります。高校生の扶養者がある方は、県立高校の授業料118,800円が無償となりますので、所得税の税率が40%の人でも112,000円の増税なので、授業料無償の方が有利となります。

東北税理士会福島支部 佐藤晃子



広報委員

三元工業(株) 石森 成彦

「2011年蔵王」

今年も蔵王スキーマの時期が来ました。2月11日から13日に土曜日をはさむの三日間の予定です。福島を9時に出発、天気予報は最悪の予報でしたが栗子峠を越え米沢へ。予報とは違い快晴。国道には雪が有りませんでした。家々の屋根にはたくさん雪が積もっていました。福島ではとても想像ができません。

山形蔵王に11時前に到着。早速ゲレンデへ。また今年も、スキー人口は減っている模様。休日だというのに人は疎らです。リフトもロープウェイも待たずに乗れます。昼食をとり天気がいいので、地蔵まで。お地蔵さんは肩まで雪の中に埋もれておりました。

懺悔坂を降り菖蒲沼をぬけて、大平ゲレンデを下りて、中森ゲレンデへ着いたのが午後の1時半頃でした。

た。中森ゲレンデで2時過ぎまで滑り白銀荘(今夜の宿です)に帰った。年寄りの私が一番遅いには、「メンバーも年を取ったな」と驚きました。夜はいつもの様に、カラオケ宴会。就寝は11時ごろでした。

翌日は、小雪まじりの天候でガスがかかり良いコンディションとはいえず鍋焼きうどんを食べに鳥兜まで行き軽く滑り、早いうちに中森に戻りました。

最後の日、三日目です。中森で11時過ぎまで滑り帰路の地に、米沢の熊文と言うラーメン屋で大盛りを650円で食べてきました。このラーメンはあっさり味でお奨めです。

今回のツアーで驚いたのは、スキー人口が減少したこと。蔵王でも全盛期の2割程度の混みよう。米沢スキー場もカラカラ、栗子スキー場に至っては人数を数えられそう。そういえば、蔵王スキー場ではこのゲレンデも朝、圧雪機をつかっている様子はありません。経費の節減をしているのでしょうか。それが悪影響にならないければ良いのですが。入場者は中高年が多く、若者や若い家族づれが減ったように思われます。来年は蔵王を含めスキー場が賑やかになることを願って筆をおきます。

「トイレの神様」と「銭洗い」

(株)アルティスタ人材開発研究所

代表 玄 間 千 映 子

私欲をすすぐ「銭洗い」

”トイレを磨くと、べっぴんさんになる。―、という歌詞で一躍ヒット曲となった「トイレの神様」。この歌で、ひよんなことを思い出した。そういえば小さい頃、我が家もトイレに正月のお供え餅を置いていた。トイレを祀っていたのである。

なぜ、トイレを祀っていたのか。ずっと解らなかつたその答え。つらつらと銭洗い弁天さんに思いを巡らしていたら、ようやく見いだすことができました。

初詣のついでにとかで、誰でも一度くらい銭洗い弁天さんに立ち寄りお金を洗ったことがあると思います。ザルにお金を入れて、水を掛ける。洗うというより、”すすぐ“という感じ。そんなことできれいになるワケないって解っているけれど、来年もお金に困らないようにとか、お金持ちになりま

すようにとか願掛けながら、お金を”洗い”ます。いうなれば、験担ぎ。

でも、すすいだぐらいでお金がかきれいになるかといえば、それはない。とはいえ、願い事の内容とお金を洗うという行動にも、繋がりが見えません。にも拘わらず、なぜそういう験担ぎが生まれたのか。

そこにチラッと、日本人の暮らしの知恵が隠れているように思えます。それはお金を洗って洗い落とししていたものは何か、ということ。洗って落としていたものはズバリ、お金につきまといがちな「私欲」です。

お金があれば、たいていのは何でも出来ます。ですから人はお金を集めようと思うもの。ところで、お金がこちらにくるといことは、あちらのお金は減るわけです。モノと交換だから当たり前なのですが、それで収まらないの

が人情。その買物物はよかったのか、値段と相応だったのかと後からいろいろ考えてしまうもの。そんな相手の心を充たすには、お金を減らした分以上の満足感を届けておくことが出来なくてはなりません。

秘められた経営思想

ほらほら、「はい、おまけだよ」って、ちよつと何か付いてくると嬉しい気分になるという、あれですよ、あの気分。お金を減らしてしまつた相手の気分を癒しておくこと。これって、いうなれば思いやり。私欲があつては出来ることではありません。それが上手くできると、ご贔負やリピーターとなると、今度は”お金を運んでくれる”ようになる。「お金を洗う」↓「私欲をすすぐ」↓「相手の心に思いを馳せて対応する」↓「リピーターが生まれる」ということで、ようやく「お金が集まる」という願い事がかなう、というわけです。

ところが、言うは易く行は難し。こうしたことは、中々身につくモノではありません。そこで、お金を洗う”というセレモニーを日本人は編み出した。”私欲”をすすぐことを忘れないようにという暮らしの知恵、仕掛けだったの

です。日本の経営思想には案外、スゴイものがあるのです。

所詮、人の世は清いだけではありません。だからこそ、「聞き流す」という表現があるように、日本では「流す」ということに一つの価値を置いていようと思います。

その「流す」が、トイレと重なつた。トイレに神がいると祀るのも、そんなところが発信源だと思えますが、日本のトイレの神様がして下さる「べっぴんさん」も、きつと”心美人“のことなのですね。



【筆者紹介】

玄間千映子 (げんま・ちえこ)

(株)アルティスタ人材開発研究所代表。國學院大学卒。米インマヌエル大学大学院卒後、米スタンフォード大学ビジネススクール修了。財団法人日本船舶振興会(現日本財団)役員、国会議員各秘書を経て1994年に前身の(有)アルティスタを設立し代表に。2006年現社名に改組。日本大学大学院非常勤講師、(財)港湾空間高度化環境研究センター監事などを兼任。著書に「ジョブ・ディスクリプション 問一答」「リストラ無用の会社革命」など。

「ホームページ会員企業情報」 登録(無料)のお願い



<http://f-hojin.or.jp>

皆様の会社の紹介やホームページアドレスなどの情報を掲載致します。

会社のPRや情報収集等、皆様のお役に立てるようより多くの登録を目指しております。

業種別・五十音別・フリーワードでの検索ができます。登録は、ホームページ上部メニューの「会員企業紹介」をクリックし必要事項をご記入の上「送信」ボタンをクリックすると完了です。(登録料は無料です)

詳しくは、事務局(TEL 536-1291)まで。

会社名:	(有)法人会ホーム
業種詳細:	注文住宅・リフォーム・不動産売買
住所:	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま7F
電話番号:	024-536-1291
ホームページ:	http://f-hojin.or.jp
紹介文:	創業40年以上の実績で土地～建物までトータルサポート致します。

会社名:	(株)法人会システムズ
業種詳細:	WEB制作、システム開発・構築
住所:	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま7F
電話番号:	024-536-1291
ホームページ:	http://f-hojin.or.jp
紹介文:	システムからWEBまでトータルでご提案。より良い包括的なシステム作り、それによるトータルでのコスト削減などに貢献します。

会報リニューアルのお知らせ

多くの方に見ていただくために、当会会報をリニューアルいたします。タイトルが「ふくしま法人会ニュース」から「法人ニュースふくしま」に変わるなど内容を一新いたします。

今後、より一層内容の充実に努めてまいりますので、ご意見、ご要望などお気軽にお寄せ下さい。



無料インターネットセミナーをご利用下さい!

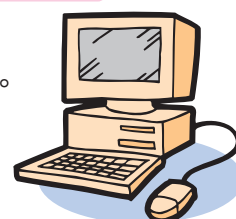
会員の皆さんへのサービスとして、無料インターネットセミナーを配信中です。見たいセミナーを、見たいときに好きなだけ受講できます。無料で視聴できますので、是非ご利用下さい。

<主なジャンル>

一般経営、税務・経理、労務、研修、人材育成、健康等インターネットセミナーをご覧になるには、**会員専用IDとパスワード**の入力が必要です。

会員ID 1291 パスワード 5012

※詳しくは、福島法人会
(<http://f-hojin.or.jp>) をご覧下さい。



カメラリポート Camera Report



▲ 23・1・21
青年部会租税教室
(福島県立福島商業高校にて)



▲ 23・1・24
社会貢献活動委員会
・税金クイズ大会(10.27)の反省点等について



▲ 23・1・26
「税務調査の動向と節税対策セミナー」
講師 中島 祥貴氏(中島祥貴税理士・行政書士事務所長)



▲ 23・1・31
女性部会租税教室
(福島市立東湯野小学校にて)



◀ 22・1・20
女性部会新年会



ワンパラ(みちのくボンガーズ)によるショー



▲ 23・2・8
平成22年度第3回総務委員会
・全法連表彰規程に伴う表彰受賞者選定について
・福島法人会役員功労表彰受賞者選定について
・公益法人制度改革について



◀ 23・2・8
平成22年度第2回理事会

・平成23年度暫定予算について
・公益法人改革に伴う当会移行認定申請について
・全法連新補助金体系「助成金方式」について

会社は心は
えと文・やまひろし



株式会社 アポロガス
専務取締役
相良 元章氏
(福島市曾根田町1-18MAXふくしま3F)
TEL(0088)22-3333

アポロエナジーは昨年十一月オープンしたMAXふくしまの三階にある。飯坂にあるアポロガスの新エネルギー事業部がテナント出店するにあたり名称を変更した。この部門は、最近急に注目をあびてきた太陽光発電やペレックトストーブ、燃料電池を手掛けている。アポロガスは四十年前に同業者が合併して会社組織とし、平成四年に飯坂の現在地に新社屋を完成し、初代の篠木勝司氏が会長に父の相良育男氏が二代目社長に就任した。現社長の篠木雄司氏は初代の長男。元専務は二代目の長男である。相良、篠木家が仲良く経営に参加している、というちょっと珍しい会社。

「アポロガスさんがほっとリビングとしてガスのほかに太陽光発電はじめリフォームや新築もするようになった訳は？」
「新聞購読はときどき変える家庭がありますが、ガスの場合は家庭に直結しておりますので、よほどのことがない限り、一度ご契約して頂きますと、長い付き合いとなります。そこで家庭内のいろんなことで、ご相談を受けることがございます。平成十二年からは太陽光発電、十六年からはリフォーム、新築なども加えて別部門として展開し始めた訳です」
「最近、太陽光発電が注目をあびてきましたね」
「政府と福島市の援助もありますし、余った電気は電力会社で買って頂けました。昨年十一月からMAXの三階に相談カウンターが出来ましたので、フリーのお客さまが気楽に話しかけてくれたり相談を頂けるので良かったと思っております」
太陽光を受けるパネルは地球の緯度に合わせて傾斜を付けるとうまくいく、という。赤道付近は緯度が0度からパネルを水平程度に、福島は角度を35度前後にすると良いという。「なるほどなあ」と感心した。
元章氏は昭和四十一年に飯坂で生まれ、福島高校を経て明治大学に。卒業

後、鎌倉で仕事をした。鎌倉の会社では骨董品・カフェの仕事をしたというのでびっくりした。二十七歳のとき福島に戻り水道工事の会社で三年間修行。三十歳のときアポロガスに入社した。
友人の依頼で家を新築したとき「ガス屋でも家が建てられた」と感動したという。
趣味はと聞くと、エンジンのある乗り物が好きで、鎌倉にいるときポートやオートバイを乗り回していたという話だし、現在でも仕事の合間に塩釜にも行き海遊びを楽しんでいるとか。

アポロガス四十年の歴史伝統を基礎に太陽光発電、リフォーム、新築と事業を広げている若き専務に期待しつつ、ほっとリビングから帰ってきた。



【3月のこよみ】
大卒就職「就職難のない大学か…」

おとろけ

三月に入り、年度末を迎える事業所が多いと思われれます。今年は、正月早々に寒波到来、意外な地域での大雪は、交通渋滞を起し、また、寒さが続きました。宮崎県の鳥インフルエンザの発症、鹿児島県新燃岳の火山爆発、そして、エジプトのムバラク政権崩壊等々、国民が安心した生活が出来ないことばかりである。政治については、民主党政権の内部統一がなされておらず、政治資金問題等ご承知の通り。財政は、税収(収入)より国債発行額(借金)の方が多くなり、国の借金総額は、約九兆九千八百円となつて、赤ちゃんも含めた国民一人当たり七八万円の借金になるという。景気回復には、程遠いと感じます。

さて、昨今の消費不振は、景気が悪いからとされてきましたが、どうやら他に原因があるようです。わが国の総人口は減少。年少人口(〇〜十四歳)と生産年齢人口(十五〜六十四歳)が大幅減少、高齢者(六十五歳以上)が増加。特に、生産年齢人口の現役世代(納税者)が、大幅に減少したことが全ての消費減と財政不足に直結しているという。高齢者は、所得があっても先行き不安で使わず、消費は、冷え込む。今後、収入(税収)よりも支出(福祉、医療等)が増加、過不足が加速する。国、県、市町村すべて頭を抱える事態です。このような事態となっても無駄遣いの国債発行額は増え続ける。(参考)「デフレの正体」 藻谷浩介著 (岩見記)